

各位

平成20年 海上保安十大ニュース

平成20年海上保安を巡る主な出来事・アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。集計した結果、下記の通りとなりましたのでお知らせ致します。

- 1. 野島崎沖、護衛艦「あたご」・漁船「清徳丸」衝突海難（2月）**
2月19日、千葉県房総半島の野島崎灯台から南に約42kmの海上において、護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」が衝突。漁船「清徳丸」の乗組員二名は行方不明となり、捜索を実施した。
- 2. 北九州の門司港でシエラレオネ籍貨物船から覚せい剤約300キログラムを摘発（11月）**
海上保安庁、警察、税関及び厚生労働省（麻薬取締部）は、合同で、北九州門司港に入港中のシエラレオネ籍貨物船の機関室下部に巧妙に隠匿された覚せい剤約300キログラムを発見、押収し、インドネシア人船長ほか乗組員11名と国内受取側関係者2名を逮捕。当庁関与事件では歴代2位の押収量。
- 3. 北海道洞爺湖サミット開催（7月）**
海上保安庁では、5月14日に北海道洞爺湖サミット等海上警備対策本部を設置し、国際テロ組織によるテロ行為や過激な環境保護団体による海上示威行動の未然防止のため、会議場及び全国の重要施設において、巡視船艇・航空機を配備して海上警備を実施。また、地元との連携協力を図り、プレジャーボートなどの航行自粛や不審な人物や船舶を発見した場合の118番通報などの呼びかけを実施。
- 4. 日本の調査捕鯨に係る妨害活動への対応（3月）**
南氷洋で活動中の日本の調査捕鯨船団に対する反捕鯨団体シーシェパードの妨害行為が発生。絡酸入り薬瓶を投げ込まれる等の妨害を受け、更なる妨害活動の抑止のため、警乗していた海上保安官が警告弾を使用。
- 5. 中国四川大地震に国際緊急援助隊を派遣（5月）**
5月12日に発生した中国四川大地震に中国政府の要請を受け、海上保安官13名を含む国際緊急援助隊が派遣され、捜索・救助活動を実施。
- 6. 原油高騰 緊急対策を指示（7月）**
原油高騰の影響が海上保安庁にも波及。燃料油価格の高騰を受けて、事件・事故対応など必要な業務を確実に遂行するための燃料を確保するため、緊急対策を全管区に指示。経済的運航をさらに徹底するとともに、体験航海の中止や訓練・研修の縮減などで燃料を節約。
- 7. 青森、ホタテ漁船転覆 6人死亡、2人行方不明（4月）**
4月5日午前4時35分頃、青森市漁協久栗坂支所所属のホタテ漁船日光丸（8人乗）が漁に出たまま行方不明となった。青森海上保安部が捜索に当たったが、6人死亡、2人行方不明となった。
- 8. 海上保安制度創設60周年記念式典を開催（5月）**
海上保安制度が確立してから平成20年5月で60周年を迎え、海上保安関係者が一同に会し海上保安制度に与えられた使命を改めて認識するとともに、その責務を遂行していく決意を新たにすため、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ記念式典を挙行。
- 9. 巡視船こしきと台湾遊漁船接触・沈没（6月）**
6月10日、魚釣島南約10kmの海上において、領海警備中の巡視船こしきと台湾遊漁船（レンゴウゴウ）が接触し、台湾遊漁船が沈没。台湾遊漁船乗組員は全員こしきが救助したが、船長が負傷。
- 9. 岩手・宮城内陸地震が発生（6月）**
6月14日午前8時43分頃、岩手県内陸南部にてM7.0の地震が発生。震度6強を記録し、海上保安庁は地震対策本部を設置。巡視船艇、航空機、特殊救難隊等により対応し、被害状況の調査、自治体からの要請を受け内陸部の孤立者153名を救助するなどの活動を実施した。

各位

海上保安を巡る主な出来事・アンケート 集計結果発表

平成20年海上保安を巡る主な出来事・アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。集計した結果、下記の通りとなりましたのでお知らせ致します。

記

アンケート期間：平成20年11月26日～12月8日

順位	項目	各回答順位		
		職員	一般	報道
1	野島崎沖、護衛艦「あたご」・漁船「清徳丸」衝突海難（2月）	1	1	1
2	門司港でシエラレオネ籍貨物船から覚せい剤約300キログラムを摘発（11月）	3	6	4
3	北海道洞爺湖サミット開催（7月）	7	3	5
4	日本の調査捕鯨に係る妨害活動への対応（3月）	9	5	2
5	中国四川大地震に国際緊急援助隊を派遣（5月）	12	4	7
6	原油高騰 緊急対策を指示（7月）	4	12	12
7	青森、ホタテ漁船転覆6人死亡、2人行方不明（4月）	16	11	2
8	海上保安制度創設60周年記念式典を開催（5月）	8	8	14
9	巡視船こしきと台湾遊漁船接触・沈没（6月）	5	10	16
9	岩手・宮城内陸地震が発生（6月）	13	7	9
11	明石海峡で二重衝突事故が発生（3月）	10	15	7
12	青森県大間崎沖、ヘリコプター墜落（7月）	19	9	6
13	官公庁で初の女性一等飛行機整備士が誕生（1月）	21	12	14
14	巡視船の複数クルー制開始（1月）	2	23	23
15	相次ぐ韓国人不法出入国事件に絡む国内密航斡旋組織を摘発（5月）	17	18	16
16	「領海等における外国船舶の航行に関する法律」の施行（7月）	11	25	16
17	岩手県沿岸北部を震源とする地震が発生（7月）	26	14	13
18	アデン湾にて日本船籍「高山」海賊襲撃事案発生（4月）	24	20	11
19	第五十八寿和丸転覆・沈没海難（6月）	20	26	10
19	大陸棚限界画定調査完了、大陸棚の限界の申請案の決定（10月）	13	21	22
21	2000トン型巡視船（ヘリ甲板付高速高機能）「きそ」就役、不審船対応ユニット配備完了（3月）	14	19	24
21	米国海岸ガード音楽隊を初招聘して海上保安制度創設60周年記念演奏会を開催（11月）	29	2	26
23	逃走潜水器密漁漁船大追跡（2月）	22	17	19
24	台湾活動家等による尖閣渡航活動への対応（6月）	25	15	20
25	海上保安庁職員の冬季制服の変更（9月～）	6	27	29
26	愛知県三河港蒲郡で、シエラレオネ籍貨物船乗組員を大量偽造クレジットカード密輸入で逮捕（6月）	23	22	20
27	新型回転翼機導入（3月）	18	28	31
28	人気連載漫画「トッキュー」の原作者が海洋立国推進功労者表彰、作者が長官表彰を受賞（7月）	28	24	30
29	新交通ビジョンを答申（6月）	27	31	26
30	海上保安庁長官定例記者会見を開始（10月）	31	30	24
30	ソマリア周辺諸国の法執行能力向上のための人材育成支援（10月）	30	29	26

職員・一般・報道関係者別集計結果

海上保安庁職員

順位	項目
1	野島崎沖、護衛艦「あたご」・漁船「清徳丸」衝突海難（2月）
2	巡視船の複数クルー制開始（1月）
3	門司港でシエラレオネ籍貨物船から覚せい剤約300キログラムを摘発（11月）
4	原油高騰 緊急対策を指示（7月）
5	巡視船こしきと台湾遊漁船接触・沈没（6月）
6	海上保安庁職員の冬季制服の変更（9月～）
7	北海道洞爺湖サミット開催（7月）
8	海上保安制度創設60周年記念式典を開催（5月）
9	日本の調査捕鯨に係る妨害活動への対応（3月）
10	明石海峡で二重衝突事故が発生（3月）

一般

順位	項目
1	野島崎沖、護衛艦「あたご」・漁船「清徳丸」衝突海難（2月）
2	米国コーストガード音楽隊を初招聘して海上保安制度創設60周年記念演奏会を開催（11月）
3	北海道洞爺湖サミット開催（7月）
4	中国四川大地震に国際緊急援助隊を派遣（5月）
5	日本の調査捕鯨に係る妨害活動への対応（3月）
6	門司港でシエラレオネ籍貨物船から覚せい剤約300キログラムを摘発（11月）
7	岩手・宮城内陸地震が発生（6月）
8	海上保安制度創設60周年記念式典を開催（5月）
9	青森県大間崎沖、ヘリコプター墜落（7月）
10	巡視船こしきと台湾遊漁船接触・沈没（6月）

報道関係者

順位	項目
1	野島崎沖、護衛艦「あたご」・漁船「清徳丸」衝突海難（2月）
2	日本の調査捕鯨に係る妨害活動への対応（3月）
2	青森、ホタテ漁船転覆6人死亡、2人行方不明（4月）
4	門司港でシエラレオネ籍貨物船から覚せい剤約300キログラムを摘発（11月）
5	北海道洞爺湖サミット開催（7月）
6	青森県大間崎沖、ヘリコプター墜落（7月）
7	明石海峡で二重衝突事故が発生（3月）
7	中国四川大地震に国際緊急援助隊を派遣（5月）
9	岩手・宮城内陸地震が発生（6月）
10	第五十八寿和丸転覆・沈没海難（6月）